

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 1年 5月 1日

事業所名 放課後等デイサービス「てくてく」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員に対して十分なスペースを有している	
	2	職員の配置数は適切である	○		法定人員+1以上の配置を基本としている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		併設の就労支援事業所からも活動内容への意見を聴取している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価については今後実施していきたいと考えている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			県の主催のみならず民間で主催している研修会への参加も積極的に行っていきたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		○		事業所の主観で計画を策定している部分が多いため、保護者および本人からの意見や意向を十分に聴取し作成していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントツールとして適当なものがあれば活用していきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ネットを利用して他の事業所の活動内容などを参考にしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		児童や保護者からの要望も反映している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日1時間以上打合せの時間を確保している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		基本活動は全て実施している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	学校から行事予定や下校時間の変更などFAXで連絡が入っている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		常時医療的ケアが必要な児童の受入れは現在行っていないが、受け入れを行う際には医療機関との連携を密に図っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		発達過程や支援経過については就学前の事業所との連携により十分情報を収集し、支援内容の充実に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		専門機関から発信される情報等についてはしっかりと収集し、得た情報を支援活動に活かせる体制づくりを整備していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童館や公園、公共施設を利用し、交流の場を提供している	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者からの依頼があれば行うが、事業所発信では実施していない 今後は能動的に実施していきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をし、変更等あれば案内文で通知している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会からの施設見学や事業説明の依頼があった際には快諾している 事業所での開催にあたっては保護者からのニーズを確認していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		時代背景に合わせてSNSを活用した情報発信を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルを策定し事業所内では周知している。保護者に向けたものも用意し周知していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束については現在実施していないが、実施する場合には計画に記載する	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの指示に基づいて配慮しているが、医師からの指示書の提出が可能である場合には提出を求めるようにする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事例集を作成、共有し、事業所内の安全確保に努めていく